

2022年度 社会福祉法人光摂会 事業報告(案)

●法人事業報告について

1、各事業所の実績について

事業所	登録者数		1日平均利用者	
	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度
摂津交流センター バクの家	35名	36名	23.91名	25.17名
ハッピーワールド	18名	16名	14.60名	14.67名
バクのパン屋さん (バクかふえ含む)	21名	21名	14.18名	14.70名
光摂ホーム	11名	13名	10.38名	11.64名
摂津障害者生活支 援センターはぁね す	102名	89名		

*登録者は、2022年3月末現在。

*1日平均利用者は、2022年3月と2023年3月の1ヶ月間で比較。

2、目標についての振り返り

(1) 運営について

① 『組織再編準備委員会』を設置し、事業譲渡等及び『複合福祉施設わたバ』（仮称）開設準備を進めます。

・2法人の経営層の方も含めて組織再編準備委員会に常に出席することで、事業譲渡、複合福祉施設わたバ建設に関する協議を円滑に進めることができた。その中で、7月21日には、事業譲渡契約の締結を行った。また、複合福祉施設わたバ建設については、日本財団が実施する『みらいの福祉建築プロジェクト』の助成金申請を行う中で、3法人が考える『福祉』について丁寧な協議を重ねる機会を持つことができた。今後は、3法人で協議を重ねた『福祉』をより明確にしていくことが必要だと考えられる。

② 運営監理の仕組みを導入し、運営の効率化を進めます。

・法人事務局会議の中で、予算執行状況、職員の勤務状況を始めとした各事業所の事業運営状況を各事業所共通の書面（事務局会議報告書）にて、毎月、事務局会議出席者で共有した。しかしながら、共有した情報を活用した対応等を行うには至らなかった。今後は、情報共有の仕組みは維持しながら、共有した情報を有効に活用する仕組み

みを構築していくことが必要だと考えられる。

- ③ 『障害者虐待防止等委員会』を設置し虐待等防止のための仕組み作りを進めます。
 - ・ 4月に委員会運営規程を設けた上で、6月から委員会の運営を開始した。委員には、各事業所の現場の中心を担っている職員が就任し、今年度は委員会を9回実施することができた。現場の中心を担っている職員が委員を務めていることで、各事業所の支援状況を共有することもできた。また、職員に対する虐待に関するアンケート調査や調査結果の周知も実施することができた。今後も、職員に虐待等防止に関する情報提供することを続けながら、職員の「気づき」を増やしていく取り組みを続ける必要があると考えられる。
- ④ 職員に対する安否確認システムを導入し、災害等が発生した場合において、各事業所が早期に事業を復旧できる仕組み作りを進めます。
 - ・ BigAdvance を活用した安否確認システムを導入した。常勤職員には、安否確認システム（アプリ）について説明を行った上で、全ての常勤職員が安否確認システムに加入できた。しかしながら、非常勤職員に関しては、未加入である。また、システム導入後、9月1日に安否確認訓練を実施したが、その後、定期的に訓練を実施できていない状況もある。

(2) 事業について

- ① 全ての事業所の理念（何を目的にするか）を明確にし、理念に沿ったプログラム等の充実を進めます。
 - ・ 理念（目的）を明文化した事業所は、1事業所となった。事業所が目的をもって日々の実践に取り組むことで、利用者、家族、職員、関係者のチームがより良い働きをし、支援の向上や職員の働き易さにも繋がっていくことを実感できていないことが、事業所の理念（何を目的にするか）作りに消極的な一因だと考えられる。今後は、法人が今まで以上に理念や事業目標に沿って実践を行っていく中で、職員に目的をもって実践を行うことで、より良い明日に繋がることを実感して貰えるようにする必要があると考えられる。
- ② 何かあった時でも、それぞれの事業所等が機能を継続できるよう、職員応援体制の仕組み作りを進めます。
 - ・ 今年度、虐待防止等委員会を設置したことで、事業所間の横の繋がりが更に強化された。今後は、現場の中心を担っている職員が中心になって、事業継続計画等を作成していくことが必要だと考えられる。

(3) 人材育成

- ① 職務分掌をより明確にし、職務の見える化を進めます。
 - ・事務局会議の中で、職員の勤務状況を目に見える形で共有した。また、虐待等防止委員会が主体となり職員の職場環境に関する調査も実施した。今後は、チームで職務を行っていく視点も取り入れながら、職務分掌について更に検討していく必要がある。
- ② 「明日への活力」をキーワードに、より現場に添った研修を実施できる仕組みを整えます。
 - ・今年度は、虐待等防止委員会が中心となり研修を実施した。AED 講習や、個別支援計画作成研修など、現場に添った研修を実施することができた。今後も、虐待等防止委員会が中心となり、研修を実施していくことで、支援力の向上に繋がると考えられる。

(4) 労働条件

- ① 就業規則の変更等により、有給休暇を取得しやすい環境を整えます。
 - ・今年度より、有給休暇を半日単位や時間単位で取得できるように変更を行った。年間 10 日以上有給を取得している常勤職員(管理者を除く)は約 8 割となった。なお、10 日以上有給取得が難しい職員が所属する事業所は、当該事業所の全職員の有給取得状況も低い傾向がある。今後は、事業所間の格差無く、有給取得できる環境を整備していくことが必要だと考えられる。
- ② 国の制度を活用し処遇改善を更に進めます。
 - ・今年度からは、処遇改善加算に加えて、ベースアップ等加算を取得することで、常勤職員については、月額 6,400 円の増額を行い、非常勤職員については、時給 40 円の増額を行った。今後も、現在の処遇を維持しつつ、更なる処遇改善を実施していく必要があると考えられる。

● 摂津交流センターバクの家

1、事業の目標の振り返り

(1) 創作活動や余暇活動の充実をはかる

- ・クリスマスやハロウィンなどの季節ごとの創作活動はおこなうことが出来た。
- ・休日開所やお楽しみ会・茶話会などのイベント開催をおこなった。計画的な内容ではなく不十分であった。今後も継続的に検討をしていく必要がある。

(2) 身体を動かす活動をする

- ・体操など再開予定であったが実施できていない。
- ・散歩などの外に出る活動は、少ないが数回実施をした。

2、ヒヤリ・事故・苦情の振り返り

(1) 一年間の件数について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	15	32	37	16	9	16	
事故	2	1	6	3	1	4	
苦情	1	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	14	14	12	16	11	25	217
事故	0	0	0	3	0	1	21
苦情	1	0	1	1	0	0	4

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリについて

- ・217件挙がっている。主に障害特性によるこだわり行為、身体機能低下にともなう躓き、利用者間トラブルなどが多く挙がっている。

② 事故について

- ・21件挙がっている。内訳としては、「転倒5件」、「他傷行為8件」、「過度な接触行為2件」、「服薬ミス1件」、「盗食1件」、「無断外出1件（公園から無断で事業所に戻る）」、「体調不良による緊急搬送1件（意識朦朧とする）」、「誤嚥未遂1件（パンが喉に詰まりそうになる）」、「送迎車内に利用者を取り残す事故1件」となる。傾向としては主に「利用者の高齢化」、「障害特性」が要因と考えられるものが多い。内容としては、歩行の不安定からくる転倒や咀嚼機能低下による誤嚥。行動障害のある利用者の他傷行為やこだわりが原因となる無断外出、盗食などがあった。

また、朝の送迎後の車内に利用者を取り残す事故があり、事故報告書にもあるが通常通りの支援の中では起こり得ない案件であったが、複数の職員が確認を怠ったことが重なることで発生した事故であった。

③ 苦情について

・4件あがっている。内訳としては支援について3件、パン配達について1件となる。支援については3件すべてが家族から支援内容についての問い合わせであった。コミュニケーションが難しい利用者も多く、利用者本人から家族、職員へ言葉で訴えることが難しいため、連絡ノートなどで事業所での様子はお伝えしているが、全て伝えることが困難な状況がある。

④ 振り返りについて

・「気づきノート」を導入しており、利用者の些細な変化等を日々記録しており、その中から「ヒヤリ」「事故」「苦情」「気づき」として拾い上げをおこなっている。そのため、ヒヤリとして挙がる件数も多く、「ヒヤリ」とはならなくても「気づき」として挙げることで、事故防止の観点だけではなく、日々の体調や気持ちの変化を把握する一つとなっている。

課題としては、今後さらなる利用者の高齢化や身体機能の低下にともなう事故リスクへの対応、障害特性に応じた支援を実施することで自傷他傷行為やこだわり行為を減らしていくことが必要となる。

3、工賃実績について

工賃支払い総額	1,448,635 円
平均工賃	3,337 円

*工賃支払総額：2022年度1年間に利用者さんに支払った工賃の総額

*平均工賃：2022年度1年間に支払った工賃の総額÷2022年度1年間に工賃を支払った利用者さんの延べ人数

●ハッピーワールド

1、事業所の目標について

(1) 余暇活動を充実していく。

・10月21日（金）に「万博記念公園へ散歩」レクリエーションを開催する事が出来た。利用者15名が参加。

(2) 利用者さんのペースで出来る仕事を増やしていく。

・古着のケアの内職を中心にポスティング等を利用者さんのペースに合わせて実施した。

(3) 災害に備えて避難訓練等を充実していく。

・4月29日（金）に避難訓練を実施した。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

(1) 一年間の件数について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
ヒヤリ	6	8	3	7	8	6	
事故	6	8	3	7	8	11	
苦情	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリ	8	5	13	4	5	7	80
事故	4	6	3	5	6	5	72
苦情	0	0	0	0	0	0	0

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリについて

・障害特性による行動に起因した事案や、利用者同士の人間関係に起因した事案などが多い。全ての事案について、当該利用者に働きかけるのではなく、周りの環境を調整することで、当該利用者等が過ごしやすい事業所になるように改善策等の検討を実施した。

② 事故について

・障害特性の行動によりケース（物を壊す等）や道具を使用した作業中の怪我・自傷のケースが多かった。職員間で情報を共有したうえで障害特性や自傷等のケースでは、利用者のアセスメントを深めることで状況を理解し対応等を行っている。また、他の利用者との距離を置き、本人が落ち着ける状況づくりや本人の気持ちを尊重した過ごしやすい環境づくりをおこなう。作業中による事故では、道具の使用方法を

再度確認し安全に使用できるよう道具の調整をおこなう。

③ 苦情について

- ・今年度で苦情として挙げた問い合わせや意見等はなかった。

④ 振り返りについて

- ・朝の職員ミーティングや気づきノートを活用し利用者の日々の変化や様子・気持ちの変化等を職員間で共有している。気づきノートでは、「ヒヤリ・事故・苦情・気づき」の拾い上げをおこなっている。
- ・気づきノートの活用により利用者の変化を職員間で共有し、気づき・ヒヤリの段階で改善策を考えることができるようになってきた。しかし、気づきノートに記載することが目的となっていることや、改善策が職員間で共有しきれていないこともある。
- ・今後は、気づきノートの内容を拾い上げることで終わるのではなく、個々の事案について気づき・ヒヤリの段階でその事案の背景職員会議等で共有し、改善できるものは改善策を考え、改善策の共有の徹底をおこなっていきたいと考える。

3、工賃実績について

工賃支払い総額	2,133,675 円
平均工賃	10,562 円

*工賃支払総額：2022 年度 1 年間に利用者さんに支払った工賃の総額

*平均工賃：2022 年度 1 年間に支払った工賃の総額÷2022 年度 1 年間に工賃を支払った利用者さんの延べ人数

●バクのパン屋さん

1、事業所の目標の振り返り

- (1) バクのパン屋さんの利用者増に伴う、活動スペースの確保として利用者を分散するために喫茶アウルの営業日以外の空いている曜日の活用方法を検討します。
- ・職員体制を確保するのが難しい状況があったため、実施には至らなかった。今後は、職員体制も考慮した目標を設定する必要がある。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

(1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	22	15	20	23	19	20	
事故	3	3	4	4	0	6	
苦情	2	1	2	1	1	2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	22	26	14	18	10	13	222
事故	1	5	0	3	2	4	35
苦情	0	3	1	1	2	1	17

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリについて

- ・調理器具の扱いなど、主にパン工房やかふえ調理場での事例が多い。

② 事故について

- ・調理器具の使用による怪我や火傷、利用者の配達業務中による車輛との接触、利用者の障害特性によるケースなどがある。

③ 苦情について

- ・利用者からの要望や利用者家族からによる苦情があった。

④ 振り返りについて

- ・日々の日報と以前から取り組みを行っている気づきノートで毎月の「ヒヤリ・事故・苦情・気づき報告書」の拾い上げを行っている。気づきノートを始めたことによって、これまでよりヒヤリや気づきの件数が増えるようになった。しかし、拾い上げる作業までは行えるようにはなってきたが、その後の対応等の職員間での共有があまりで

きなかった。それを踏まえ今後は、今現在取り組んでいる気づきノートを引き続きしていきながら、職員会議等で情報共有の徹底、未然に防止できる事案に関しては改善策などを確認し、共有できたらと考えている。

3、工賃について

工賃支払総額	1,426,832 円
平均工賃	6,574 円

*工賃支払総額：2022 年度 1 年間に利用者さんに支払った工賃の総額

*平均工賃：2022 年度 1 年間に支払った工賃の総額÷2022 年度 1 年間に工賃を支払った利用者さんの延べ人数

● 光摂ホームについて

1 事業の目標の振り返り

(1) 防災に関する取り組みの強化について

- ・改めて災害時の避難場所について確認し、各ホームでの避難訓練の実施をおこなった。その中で防災用品等の保管等の課題も認識した。今後は課題等の検討を行いながら、非常災害時も含めた人材確保に向けた取組を行っていく必要があると考えられる。

2 ヒヤリ・事故・苦情について

(1) 一年間の件数について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
ヒヤリ	14	6	9	5	4	2	
事故	4	4	2	4	0	0	
苦情	1	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリ	5	2	8	9	8	10	82
事故	2	8	6	8	3	5	46
苦情	0	0	0	0	0	0	1

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリハットについて

- ・利用者が不穏な様子になった際に伴う行為（暴言等）が多い。また、尿や便失禁も件数として多く挙げられている。利用者の体調や様子等を主治医へ報告相談をおこない、利用者が安定して生活できるように努めた。

② 事故について

- ・利用者が不穏になった際の行為（物を投げる。他害行為等）の件数が多い。利用者の体調等を職員間で共有し、主治医への報告等を行いながら対応をおこなった。
- ・8月にサービス提供時間中の利用者死亡の事案がおこった。事案について顧問弁護士および主治医の所見を受け法人内で検証をおこない、今後の対応策の検討をおこなった。

③ 苦情について

- ・件数としては少なかったが、利用者やご家族からの問い合わせに対して、その都度対応をおこなった。今年は、2か所のホームにて、毎月利用者からの要望等を聞く時間を設け、職員会議にて、共有等を行った。

④ 振り返りについて

- ・世話人からの日々の支援の報告の中で、「ヒヤリ・事故・苦情」内容を拾い上げ、月に一度の職員会議にて共有をおこなった。ほとんどの報告内容が、他害行為につながるような状況や身体的な機能等についてであり、解決策とまではいかない状況ではあったが、日中事業所の様子等も確認し、主治医へ報告しながら、日々の生活を見守ってきた。どうしても、利用者本人の状況のみに視点が置かれることが多いため、今後は周りの状況等の確認も行いながら、解決策につながるような環境づくりに努めていきたいと考える。

3 通院介助の状況について(光摂ホームのみ)

通院先	30代	40代	50代	60代	70代	小計
精神・神経科	4	8	26	0	5	43
内科	0	13	25	13	25	76
外科	0	2	0	0	0	2
整形外科	0	0	43	0	2	45
皮膚科	0	3	2	0	0	5
婦人科	0	0	0	0	0	0
眼科	0	2	3	1	0	6
泌尿器科	0	0	0	0	0	0
歯科	0	3	18	12	5	38
合計	4 (2.0)	31 (10.3)	117 (23.4)	26 (26.0)	37 (18.5)	215 (16.5)

* 30代：女性1名 男性1名 40代：女性2名 男性1名

50代：女性4名 男性1名 60代：女性1名 70代：女性2名

* () 内は各年代での平均通院件数

* 70代女性が2022年8月末で退居、30代女性が2022年10月末で退居

●摂津障害者生活支援センターはあねすについて

1、事業の目標の振り返り

- (1) 昨年度、試行的に始めた月 1 回の土曜日開所において一定のニーズがあることを把握できたため、毎月第 1 土曜日を正式な開所日として定着させます。土曜日に開所することで平日は就業している障害者や家族との面談機会を確保します。
 - ・毎月第 1 土曜日に開所することができた。3 名の職員で午前、午後、集まってみよう会の対応等、分担もできた。土曜日に開所することで、平日は就業している障害者や家族との面談や認定調査等を行うことができた。また平日に比べて利用者や関係機関からの連絡が少ないため、職員が事務仕事に集中できるという効果もあった。
- (2) 計画相談支援の件数が増加しても支援の質を担保するため、事業所内での情報共有を密にし、多機関連携をさらに深めていきます。
 - ・令和 4 年度は計画相談支援の新規契約が 35 件あった。委託相談の年間件数は 2695 件で昨年度より 659 件増えている。3 名の相談員がケース対応で外出することが多く、事務所内に全員が揃う機会が少ない。週 1 回のミーティングで各自のケース報告を行っているが、1 週間間に状況が大きく変わることもあった。情報共有のツールとしては相談記録システムや SNS を活用。SNS は夜間休日や緊急時の連絡に役立った。相談記録システムに関しては、他の相談員が記載した記録をその日のうちに確認できないことも多々あり、情報の把握に時間差が生じた。来年度は支援の質を維持するためにも新規の契約を一旦見合わせる方針。そして職員間のより効率的な情報共有方法を模索していく。多機関連携については大きな収穫があり、福祉・医療・教育・行政等それぞれの専門職がチームで支援していることを実感できる事例がいくつもあった。
- (3) 業務用携帯電話等を活用し、業務時間外の緊急事態にも対応できるようにし、利用者や家族の安心に繋がります。
 - ・3 名の相談員が交替で業務用携帯電話を所持し、業務時間外も対応した。聴覚障害や言語障害のある利用者にはメールや SNS 等を活用。24 時間 365 日繋がる連絡先があることで、平日日中は連絡が取りにくい利用者の役に立ち、単身者等の不安軽減にもなった。一方、不安の強い利用者が深夜早朝に立て続けに連絡してくることもあり、そのような場合の対応や緊急時の判断について事業所内で相談を重ねた。他にも担当相談員以外が連絡を受けた際の対応の基準が曖昧等課題がある。業務用携帯電話の運用については、利用者の安心と職員の負担軽減のバランスをどのように取るべきか、来年度も検討を重ねていく必要がある。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

(1) 一年間の件数について

- ①ヒヤリハット：6件
- ②事故：1件
- ③苦情：3件

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリハットについて

・訪問、面談等の予定の失念が数件あった。改善策としてミーティングで1週間の予定確認、ホワイトボードやカレンダーに各自の予定を書き込み、声を掛け合う等を実践した。

② 事故について

・個人情報の誤送信があり、摂津市障害福祉課に事故報告書を提出。それ以降、外部の事業所にメールやFAXで資料を送る際は、2名以上で添付資料を確認するように気をつけている。

③ 苦情について

・利用者等から相談員の対応が不満足（要望に応じてくれない）等の苦情があったが、相談支援の役割や制度上の説明を重ねることでご理解いただいた。

3、事業実績報告

① 障害者相談支援事業（摂津市委託事業）

相談者数と障害種別

	実人員	身体障害	重症心身	知的	精神	発達障害	高次脳	その他
障害者	122	87	1	33	9	0	3	13
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	122	87	1	33	9	0	3	13

(実人員<障害種別合計数)

支援内容（支援方法）

訪問	来所	同行	電話	メール	個別支援 会議	関係機関	その他	計
138	36	54	682	74	20	1634	57	2695

↓

介護給付費関係	訓練等給付費関係	地域生活支援事業	医療機関	行政機関	権利擁護
431	292	10	272	230	16
26.4%	17.9%	0.6%	16.6%	14.1%	1.0%
高齢介護関係	教育・保育関係	就労関係	相談支援	その他	
162	54	34	19	114	
9.9%	3.3%	2.1%	1.2%	7.0%	

支援内容（相談内容）

福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
1004	5	797	235	24	121
家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他
43	218	77	33	61	77
					計 2695

② 指定特定相談支援（計画相談支援（摂津市指定）

計画相談対象者：113名

③ 一般相談支援（地域相談支援（大阪府指定）

サービス提供の実績なし

④ 障害当事者交流会「集ってみよう会」 毎月第1土曜日開催

開催日数：10回（9月と12月は施設内のコロナ感染状況を鑑み中止）

活動内容：創作（ハーバリウム、フェルトのガーランド、レジンキーホルダー、ガラス
タイルコースター、ピーナッツアート、カラーサンドアート、スクラッチア
ート等）

参加者数：延べ人数53名、実人員9名

●地域交流室について

1. 事業所の目標の振り返り

- ・『喫茶アウル』を活用して日中プログラムの充実を図ります。

→今年度においては、障害児者とともに地域で生きる会との連携により、店内の一部を利用し障害者の店 陽だまりの展示スペースとし地域や他法人との繋がりが出来た。

2. 地域交流室活動報告

活動日	活動内容
4月2日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
6日(水)	わたバ会
9日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
12日(火)	摂津市人権協会 定例会
15日(金)	ひこうせん編集会議
16日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応 配布会準備
17日(日)	わたバ会 生活応援グッズ配布会
23日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応 一中校区子ども食堂
26日(月)	障害児者とともに地域で生きる会役員会
27日(水)	立体交差事業に伴う懇談
28日(木)	日中プログラム開発プロジェクト
30日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
5月7日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
10日(火)	摂津市人権協会 総会
11日(水)	担当課 陽だまり打ち合わせ
14日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
19日(木)	東別府自治会長との公園管理についての相談
20日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
21日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
25日(水)	再編検討委員会
28日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応 一中校区子ども食堂
6月4日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
11日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
12日(日)	一中校区子ども食堂

18日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
20日(月)	立体交差事業に伴う懇談
21日(火)	障害児者とともに地域で生きる会 回答説明会
	障害児者とともに地域で生きる会 総会
	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
23日(木)	摂津市子ども食堂ネットワーク会議
24日(金)	三島まちかど広場 花壇植え替え
25日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区子ども食堂
28日(火)	地域交流室会議
7月2日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
9日(土)	福祉就職フェア
	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
11日(月)	摂津市人権協会 定例会
14日(木)	立体交差事業に伴う懇談
14日(木)	地域交流室会議
15日(金)	ひこうせん編集会議
16日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
23日(土)	一中校区子ども食堂
30日(土)	一中校区子ども食堂
	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
8月8日(月)	地域交流室会議
18日(木)	陽だまり準備会
19日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
20日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区子ども食堂
27日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
30日(火)	障害者週間啓発会議
9月3日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
10日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
17日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
20日(火)	障害者週間啓発会議
24日(土)	一中校区子ども食堂
26日(月)	立体交差事業に伴う懇談
29日(木)	陽だまり打ち合わせ

10月1日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
7日(金)	ひこうせん編集会議
8日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
9日(日)	一中校区子ども食堂
11日(月)	立体交差事業に伴う懇談
	障害者週間啓発運営会議
15日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
21日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
22日(土)	一中校区子ども食堂
29日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
11月1日(火)	CSWマイスター研修
2日(水)	CSWマイスター研修
5日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
13日(日)	一中校区子ども食堂
14日(月)	摂津市人権協会 定例会
18日(金)	わたバ会
	日中プログラム開発プロジェクト
19日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
22日(火)	社貢献対応
	障害者週間啓発運営会議
	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
24日(木)	人科大学生との懇談
25日(金)	社貢献対応
26日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区子ども食堂
12月6日(火)	人科大学生との懇談
8日(木)	みしまつり打ち合わせ
10(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
11日(日)	1中校区子ども食堂
16日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
17日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	1中校区子ども食堂
23日(金)	居住支援セミナー
24日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	歳末ふれあいの集い

1月7日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
14日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
15日(日)	1中校区クリーン作戦
16日(月)	阪急立体交差に伴う懇談
17日(火)	障害者週間啓発運営会議
	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
18日(水)	居住支援法人申請
18日(水)	みしまつり 打ち合わせ
20日(金)	3者交流会 打ち合わせ
	ひこうせん編集会議
21日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
23日(月)	阪急立体交差に伴う懇談
26日(木)	わたバ会
27日(金)	緑化推進連絡会
	日中プログラム開発プロジェクト会議
28日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	1中校区子ども食堂
2月1日(木)	京都銀行懇談
4日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
6日(月)	阪急立体交差に伴う懇談
14日(火)	居住支援法人 打合せ
17日(金)	日中プログラム開発プロジェクト会議
18日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
21日(火)	摂津市人権協会セミナー
	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
	味舌の楽しいち打ち合わせ
22日(水)	子どもフェスティバル打ち合わせ
25日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	1中校区子ども食堂
3月2日(木)	摂津市人権協会 定例会
4日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
6日(月)	社貢献交流会
10日(金)	白鷺園訪問(居住支援法人)
11日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
12日(日)	1中校区子ども食堂

15日(水)	居住支援法人 打ち合わせ
23日(木)	子どもフェスティバル打ち合わせ
24日(金)	京都銀行との懇談
25日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	1中校区子ども食堂

3. 喫茶アウル年間営業日等について

4月	6・7・13・14・20・21・27・28	小計8日
5月	11・12・18・19・25・26	小計6日
6月	1・2・8・9・15・16・22・23・29・30	小計10日
7月	13・14・20・21・27・28	小計6日
8月	17・18・24・25・31	小計5日
9月	1・7・8・14・15・21・22・28・29	小計9日
10月	5・6・12・13・19・20・26・27	小計8日
11月	2・9・10・16・17・24・30	小計7日
12月	1・7・8・14・15・21・22・28・29	小計9日
1月	11・12・18・19・25・26	小計6日
2月	1・2・8・9・15・16・22・23	小計8日
3月	1・2・8・9・15・16・22・23・29・30	小計10日
	総計	92日

4. 総括

- ・今年度より、市内において社会貢献事業連絡会を発足し、摂津以南（3法人）、以北（3法人）と分類し、4カ月に1回一度、地域の担当窓口となることにより今まで以上に関係機関とのコンタクトを取る事が出来た。
- ・喫茶アウルにおいては、ほぼ休業することなく営業を行うことが出来た。